

発達障害児・者のニーズを踏まえた 障害福祉サービス等の利用支援に関する調査報告

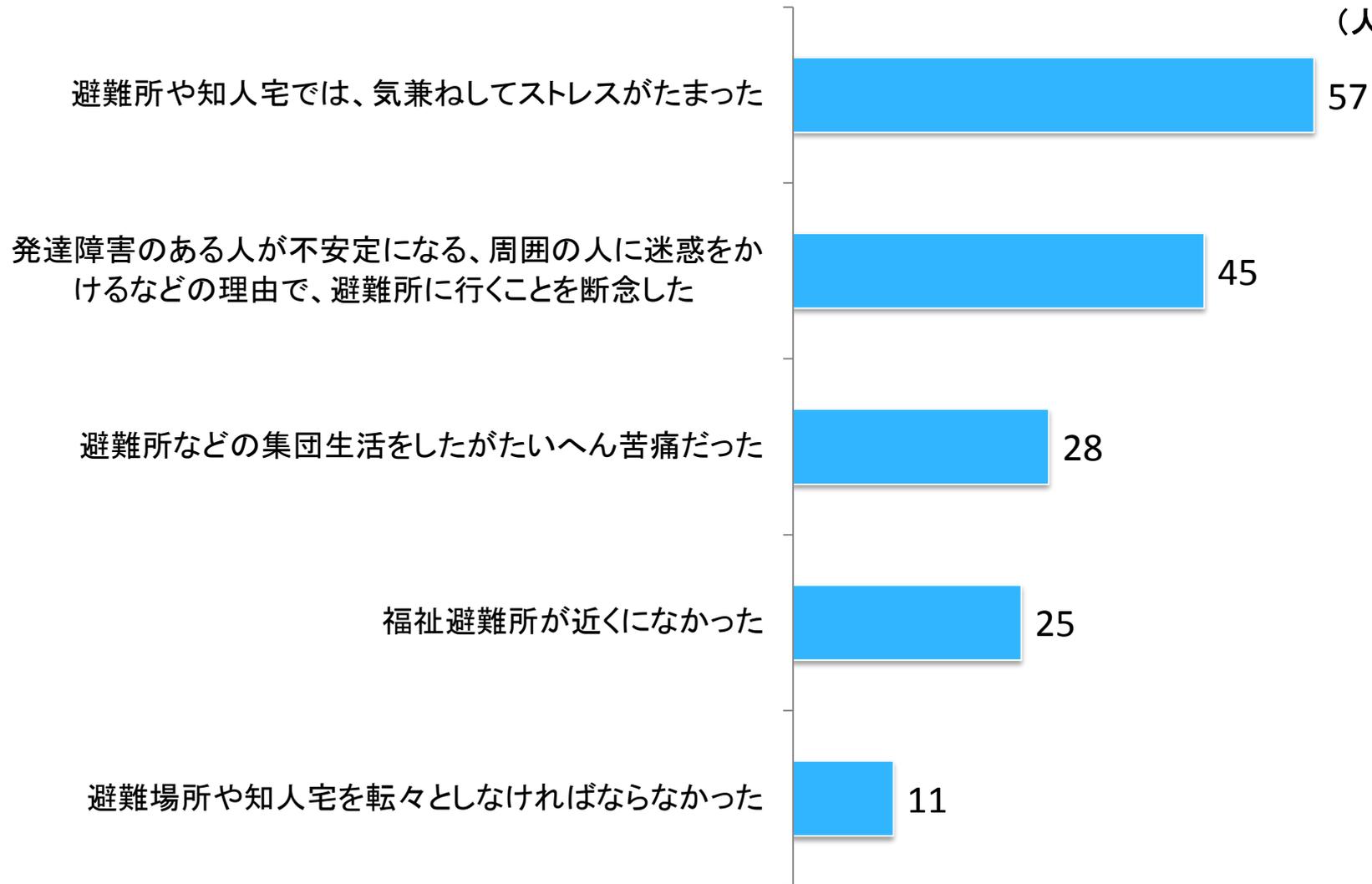
(その4) 震災後のニーズ ②

国立障害者リハビリテーションセンター
発達障害情報・支援センター

住まいや避難先の確保や環境に関すること

総数276人

(人)



選択式による。複数回答可

自由記述

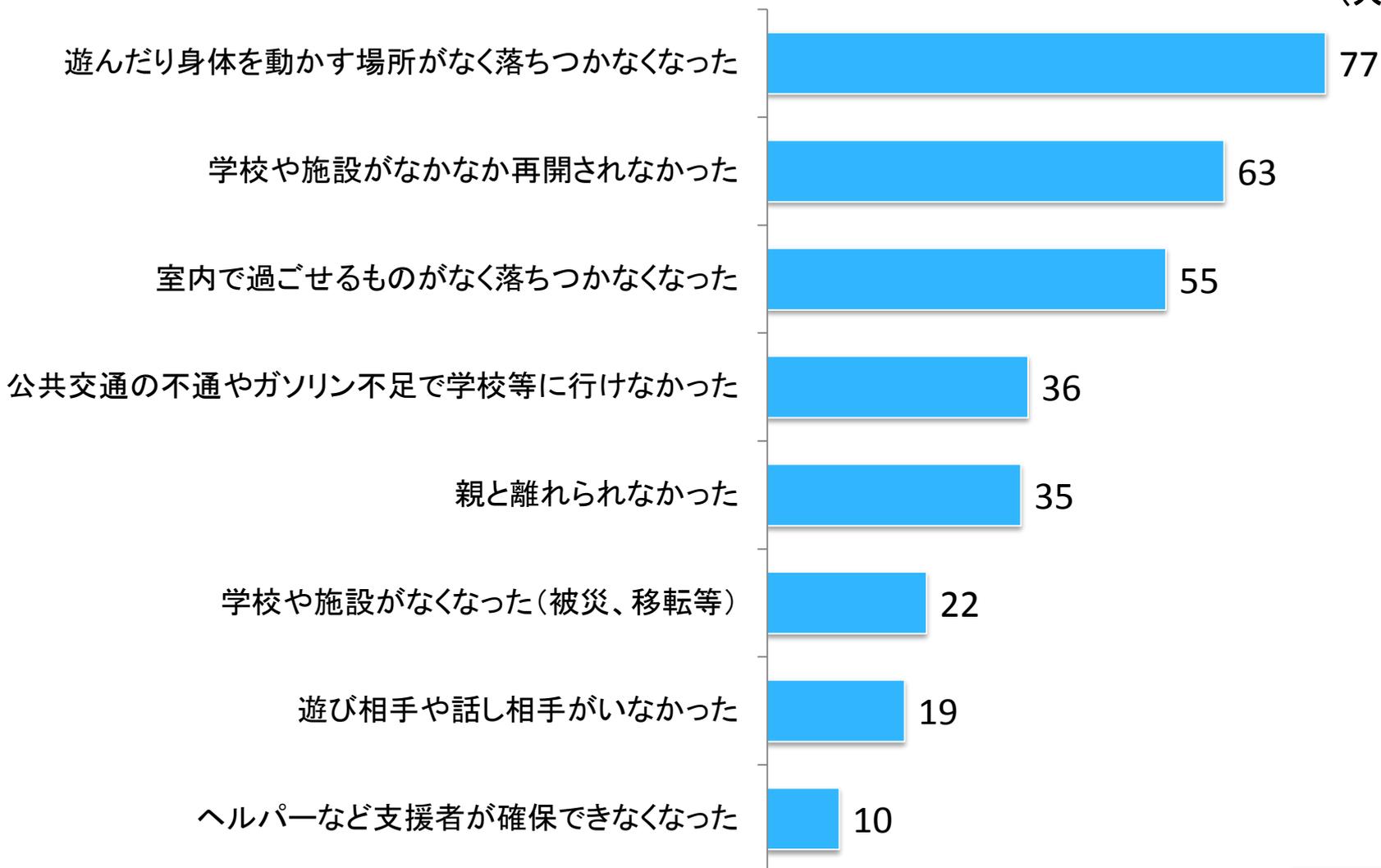
住まいや避難先の確保や環境に関すること

- 地区にひとつ、または市にひとつは福祉避難所がほしい。大変とは思いますが、発達障害者支援センターなどでも情報を集めて提供してほしいと思います。(6歳)
- 行動パターンを崩せないことから来るパニック状態になることを恐れ集団生活ができず、少し離れた親戚宅にあずけました。(6歳)
- 障害児は少しのことでもパニックになりやすいので、健常者(大人)の方と一緒に、避難所等で過ごすのはとてもムリです。健常者が騒ぐと障害児は余計に不安になるので、できれば部屋を別にしてもらえると、本当に助かります。(6歳)

日中の活動や過ごし方 (学校や施設、福祉サービスなど含む)

総数276人

(人)



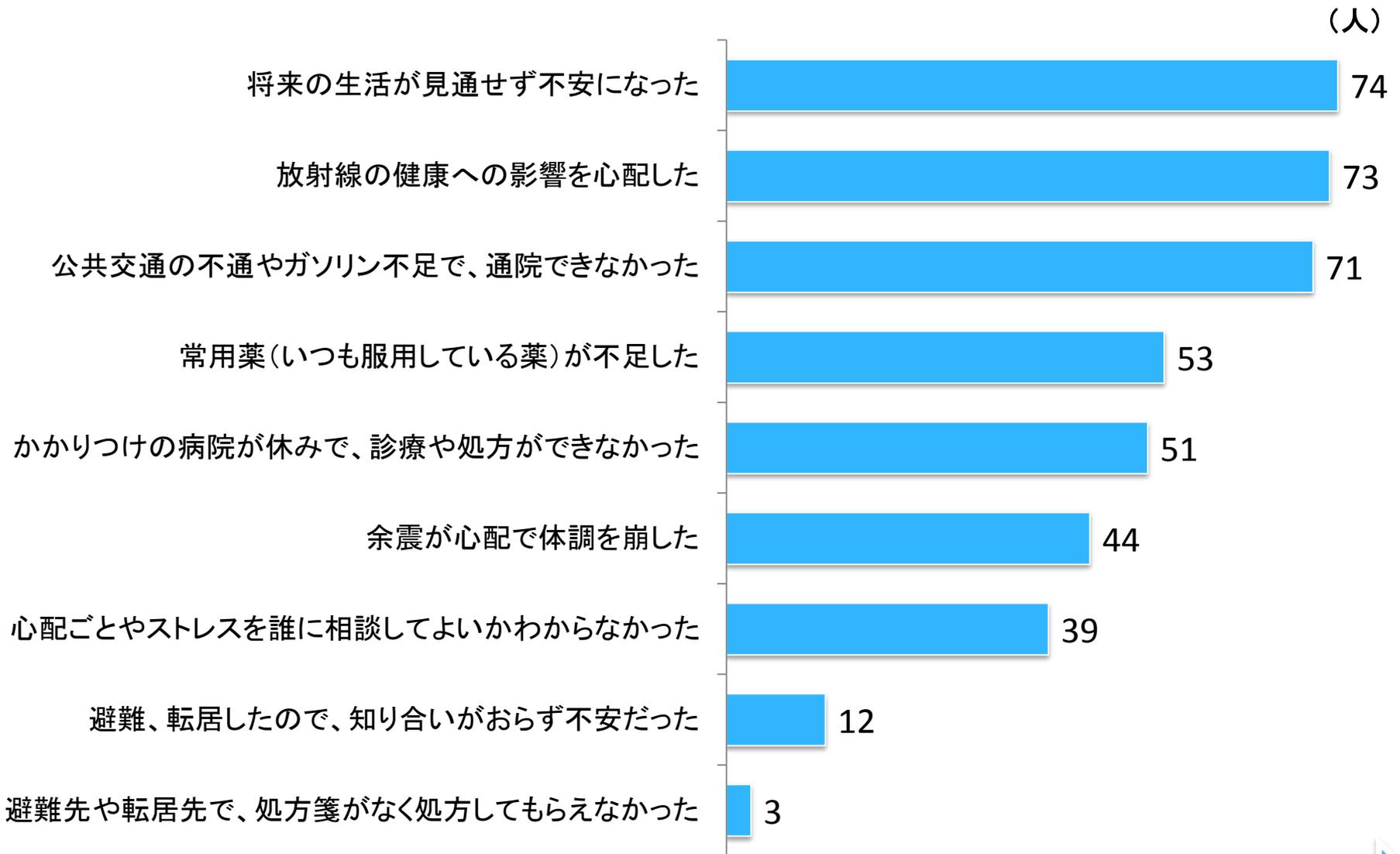
選択式による。複数回答可

自由記述

日中の活動や過ごし方 (学校や施設、福祉サービスなど含む)

- 放課後児童支援が利用できてよかったです。(11歳, 4歳)
- ガソリンが不足して施設に迎えに行けませんでした。(31歳)
- 幼稚園なども午前中だけでもよいので預かってほしかった。再開までに時間がかかり、子どもは家の中での遊びに限られるので、ストレスがたまっていたのではないかと思います。(6歳)
- 幼稚園、児童デイサービス等の再開を早めにしてほしかった。子どもが放射能を理解できないので、外遊びができないことを説明してもわかってもらえなくて苦労しました。(6歳)
- 福祉サービスが途中で中止されました。(13歳)

医療・薬品の確保、健康状態に関すること 総数276人



選択式による。複数回答可

自由記述

医療・薬品の確保、健康状態に関すること

- 薬のストックがあってよかった。

同様のご意見が多数ありました

- ガソリン不足で通院できない時、近くの病院で薬を処方してくれました。(13歳)

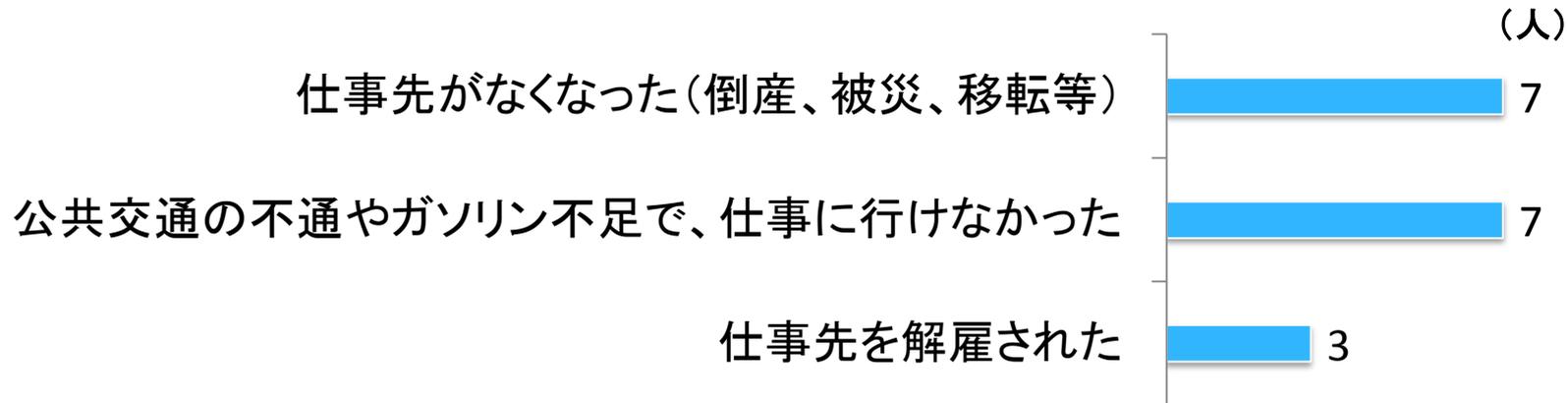
- 常用薬は間に合ったが、たまたまあったためによかった。もしなかったらガソリン不足で通院も困難だったと思います。(13歳)

- 自分で努力して情報を集めないといけないと感じました。発作のある子のために薬の備蓄、配布を県や市町村でしてほしいです。(4歳)

- 本人だけだったら物もわからず話もできずで、何の薬を服用しているか書きとめた物をいつも身につけておかなければいけないなと思いました。(11歳)

● 仕事や雇用に関すること

15歳以上、102名に調査



● 数多くの企業が被災し、就職先が減りました。(24歳)

● ジョブコーチが定期的に支援に来るとよいと思います。(47歳)

● 仕事場が3ヶ月間休みになり、今後どうなるか不安でした。(24歳)

● 無料でインターネットが利用できれば就労に関する情報も得やすくなるはずです。(36歳)

● 仕事先が不安定になりました。(39歳)

発達障害のあるご本人による
自由記述より

● その他の困ったこと

- 息子は毎日、曜日ごとに見るテレビが決まっていますので、生活がパターン化していますので、10日以上も停電が続いたときは生活が全く変わってしまいかなり不安そうにしていました。停電の意味もわからないので、何度も何度もテレビが見られるかどうか聞かれ、どう説明していいのかもわからず困りました。(17歳)
- 家は全壊でしたが、多動や奇声があったために仮設住宅への応募も断られました。(5歳)
- 祖父母宅に親族あわせて10人以上で暮らしたのですが、自閉症に対する理解がなく、苦しい思いをしました。(8歳)
- 余震が続くライフラインの復旧も遅かったため不安は強く、親と離れなくなり体調も崩してしまい、食料も水も思うように手に入れることができませんでした。(17歳)